

岬町まち・ひと・しごと創生総合戦略の 取組みについて

令和5年9月27日

岬町まちづくり総合戦略会議資料



1. **第2期岬町まち・ひと・しごと創生総合戦略の計画概要について**
2. **令和4年度の地方創生の取組みについて**
 - (1) **主な取組みについて**
 - (2) **成果実績について**
 - (3) **人口動態について**
3. **第2期岬町まち・ひと・しごと創生総合戦略の方向性**
4. **第2期岬町まち・ひと・しごと創生総合戦略の取組みについて**

1. 第2期岬町まち・ひと・しごと創生総合戦略の概要

(1) 趣旨

- ・第1期岬町総合戦略の検証を行い、国の第2期「総合戦略」や「第5次岬町総合計画」を踏まえ、Society5.0やSDGsといった新しい視点を盛り込み、岬町の強みや特徴を生かした今後5か年の地方創生の指針となる総合戦略を策定

(2) 計画期間

- ・令和3（2021）年度から令和7（2025）年度までの5年間

(3) 基本目標と横断的な目標

- ・総合戦略に掲げる基本目標とそれを達成するための具体的な取り組みを示した戦略の体系

基本目標1 新しい人の流れをつくり、定住と交流を促進する	1) 移住・定住の支援 2) 関係人口の創出・拡大 3) 観光の振興 4) タウンプロモーションの推進
---------------------------------	--

基本目標2 結婚・出産・子育て・教育の希望をかなえる	1) 結婚・出産・子育ての支援 ① 結婚希望の実現 ② 妊娠・出産の支援 ③ 子育ての支援 2) 次代を担う人材の育成
-------------------------------	---

基本目標3 経済を活性化し、安定的な雇用を創出する	1) 地域資源を活かしたまちの魅力強化 2) 地域産業の競争力強化 3) 雇用対策の推進
------------------------------	--

基本目標4 安全・安心な暮らしができる魅力的なまちをつくる	1) 生活インフラの確保 2) 安全・安心な暮らしの確保 3) 誰もが健康で暮らしやすいまちづくりの推進 4) 地域コミュニティの活性化 5) 広域連携の推進
----------------------------------	---

横断的な目標Ⅰ 多様な人材の活躍を推進する	1) 幅広い連携の推進
--------------------------	-------------

横断的な目標Ⅱ 新しい時代の流れを力にする	1) 新しい時代の動きの活用
--------------------------	----------------



2. 令和4年度の地方創生の取組みについて

(1) 主な取組みについて

●住宅取得、結婚や出産、子育てに関する各種助成事業を実施する。

◆ 1.新築住宅助成◆

	件数	対象人数	内町外移住
平成30年度	17件	49人	26人
令和元年度	13件	44人	18人
令和2年度	19件	49人	21人
令和3年度	20件	58人	42人
令和4年度	14件	37人	19人

◆ 2.中古住宅助成◆

	件数	対象人数	内町外移住
平成30年度	1件	2人	2人
令和元年度	6件	17人	7人
令和2年度	4件	8人	4人
令和3年度	3件	7人	6人
令和4年度	4件	12人	8人

◆ 3.家賃助成◆

	件数	対象人数	内町外移住
平成30年度	7件	19人	14人
令和元年度	8件	21人	14人
令和2年度	6件	13人	8人
令和3年度	3件	7人	6人
令和4年度	3件	7人	6人

◆ 4.民間事業者との連携による婚活イベント◆

	開催件数	参加者数	交際成立数
平成29年度	5件	58人	7人
令和元年度	1件	27人	8人

※平成30年度、令和2～4年度は実績なし

◆ 5.出産祝金◆

	件数
平成30年度	44件
令和元年度	37件
令和2年度	52件
令和3年度	52件
令和4年度	47件

◆ 6.不妊・不育補助◆

	助成件数
平成30年度	16件
令和元年度	12件
令和2年度	16件
令和3年度	12件
令和4年度	10件

◆ 7.結婚新生活支援事業◆

	助成件数
平成30年度	1件
令和元年度	-件
令和2年度	1件
令和3年度	3件
令和4年度	1件

◆ 8.空き家再生事業◆

	件数
平成30年度	2件
令和元年度	5件
令和2年度	4件
令和3年度	1件
令和4年度	1件

●奨学金返還支援助成・グローバル人材育成支援補助・結婚祝金【令和4年度新規事業】

◆9.奨学金返還支援助成◆

奨学金返還者の就労初期における経済的負担を軽減することによって町内への定住を促すことを目的とし、奨学金の返還者に対し、助成金を交付。

令和4年度実績：4件

◆10.グローバル人材育成支援補助◆

国際化に高い意識、関心を有し、将来国際的な役割を担う夢を応援するため、岬町グローバル人材育成支援補助金を交付。

令和4年度実績：3件

◆11.結婚祝金◆

未婚者の婚姻を奨励するとともに、町内への定着化を図ることで人口の減少を抑制し、本町の活性化の推進に資することを目的に結婚祝金を交付。

令和4年度実績：5件

◆9
大学等を卒業し、
令和4年4月1日以降に
奨学金の返還を始めた方

※他、諸要件あり



年間最大10万円

奨学金の返還を補助します！

◆10



高校生等の
短期留学を応援！
上限10万円を補助

◆11



新婚世帯を祝福し、
夫婦1組につき5万円
を交付します



- 多奈川駅前の元旅館を借上げ、地域おこし協力隊の事務所として町内外の住民が集える交流拠点「まちづくり交流館」の貸館制度を活用し、カフェ等をオープン。
- シェアキッチンは従来の3店舗の定期利用に加えて、1店舗の新規利用開始。
- 町内外問わず、年間約1,000人が来館。



まちづくり交流館



岬の自習室 (カフェ)



おふくわけ (カフェ)



チリエージョ (カフェ)



ここのの (菓子製造・新規)



シェアキッチン利用の様子

施策に関連する総合戦略における重要業績評価指標（KPI）

1) 移住・定住の支援

重要業績評価指標(KPI)	基準値
空家率※2	17.9%

※2住宅・土地統計調査

● J：COMチャンネルにて、岬町への移住・定住促進を目的とした町の魅力発信動画を大阪市以北の地域で放送。



施策に関連する総合戦略における
重要業績評価指標 (KPI)

4) タウンプロモーションの推進

重要業績評価指標(KPI)	基準値
ホームページアクセス件数	128,456件



●創業支援事業補助金を受け、3件の店舗が新たに創業（予定含む）

●ビジネスプランコンテストの実施

強み/機会	概要	需要/概要
立地	自宅兼店舗の真隣り 大阪市内から車で約1時間 関西屈指の人気スポット	既存事業および子育てとの両立が可能。 近隣への旅行や車移動希望増加傾向に対応。 淡輪ときめきビーチは関西全体で第2位の人気を誇る。 (じゃらんnet調査、全99件のビーチをランキング)
広大な敷地	海水浴場や釣り場に近い	一時駐車スペースとして可能。 敷地の一角にバーベキュー場を設置。
リゾート風建築	新築 宿泊施設に改装	～～外観と内装＝一般的な民泊との差別化ポイント コロナ収束後、外国人観光客の需要も期待。
屋外レジャー需要の増加	他人との接触を避けた 屋外レジャーが人気	夏は海水浴客。年間を通じて釣りやSUP、ウィンドサーフインの宿泊客が見込める。
ビジネスプランコンテスト資料より抜粋	別メニューを提供。 用客へ提供。 客へ限定メニューを提供。	相互の集客を高める。



moani by kahuna stay
宿泊施設

Indoor Golf Studio Ra.GOLF
インドアゴルフ練習場



西林寺 寺カフェ キリーク

★創業支援事業補助金交付件数

年度	件数
平成30年度	2件
令和元年度	2件
令和2年度	3件
令和3年度	2件
令和4年度	3件

★ビジネスプランコンテスト申込・入賞※件数

年度	申込件数	入賞件数
平成30年度	3件	3件
令和元年度	2件	1件
令和2年度	11件	3件
令和3年度	6件	2件
令和4年度	5件	2件

※最優秀賞または優秀賞に選ばれた件数を示す。

- 令和4年7月3日（日）深日港の活性化を目的とした深日港フェスティバルが開催されました。
- 令和4年8月5日（金）から7日（日）まで、全国の中高生が鉄道を軸とした地域活性化策を提案する「全国高校生地方鉄道交流会」が開催され、多奈川線活性化に関する議論が行われました。（写真は記念運行のめでたい電車）
- 本町への交流人口の増加、賑わいの創出、まちの魅力発信に繋げることを目的に、令和4年10月8日（土）いきいきパークみさきで「RIDE集会」が開催されました。（全国各地からバイク愛好家が集まり、交流するイベント）
- 令和4年12月3日（土）から11日（日）にみさき公園にて岬町観光協会が設置したイルミネーションが点灯され、訪れた人々を心身共に明るく照らしました。
- 今後の町の魅力発信のため、吉本興業の芸人が「よしもと岬町遊びつくし隊」に任命されました。



- 令和3年度に計画期間を満了した「大阪湾をつなぐ！広域型サイクル・ツーリズム事業」を前身事業として、新たに内閣府より地域再生計画の認定を受け、「広域型サイクルツーリズムを活用したまちづくり事業」を開始した。
- 本事業は「新しい人流から着地型観光への深化」をコンセプトに、深日港洲本港航路を行き交う人の流れを周辺地域での観光消費に繋げることを重点課題として取り組みを進めるもの。
- また深日港洲本港航路では、自転車が積載可能な船舶を使用していることから、サイクリングイベントや体験会の開催を通じ、自転車の利活用を促進・PRすることによって航路利用者数の底上げを図った。
- 周辺地域での観光消費を促進するため、深日港洲本港航路と連携した岬町を巡るバスツアーの開催や、洲本市内の商業施設と連携した温泉付きプラン等を展開し、地域資源の掘り起こしを行った。
- 新型コロナの影響による活動機会の減少や会員の高齢化により、観光ガイドの会員数が減少傾向であることから、SNSによる情報発信力強化と広報誌での新規会員募集を行った結果、2名が新規加入した。新規会員加入後には、外部講師を招き、観光ガイド基本講習を実施した。
- 令和5年度においては、昨年度からのバスツアーやサイクリングイベントの開催に加え、鉄道と船のセットプラン販売を開始する等、関係事業者と更なる連携強化を図り、事業を推進している。



重要業績評価指標 (KPI)	単位	目標値 (R4)	R4
①滞在型・着地型観光プログラム利用者数	人	120	170
②滞在型・着地型観光プログラム造成数	件	3	3
③観光ガイド登録者数	人	10	2
④サイクリング促進イベント参加者数	人	100	110





2. 令和4年度の地方創生の取組みについて

(2) 成果実績について

※重要業績評価指標(KPI)の欄に記載の「2期」については、第2期岬町まち・ひと・しごと創生総合戦略から新たに指標として追加したもの

成果実績①

基本目標 1 新しい人の流れをつくり、定住と交流を促進する



まちの魅力づくりと情報発信に努め、定住人口の増加と交流人口の拡大を図る。
町や地域と関わりのある町外からの新しい人の流れ（「関係人口」）を活かした取組を進める。



数値目標	基準値	目標値	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
社会増減数※1	△86人(R1)	0人(R7)	△37人	△129人	△86人	△90人	△39人	△92人
観光入込数※2	1,948千人(R1)	1,600千人(R7)	1,410千人	1,304千人	1,948千人	1,366千人	1,428千人	1,561千人

1) 移住・定住の支援、 2) 関係人口の創出・拡大

※1住民基本台帳人口移動報告、※産業観光促進課調べ

重要業績評価指標(KPI)	基準値	目標値	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
若年層(20~39歳)の転出超過数(単年度)※1	△100人(R1)	△80人(R7)	△52人	△108人	△100人	△93人	△54人	△109人
空き家率※2	17.9%(H30)	現状を下回る(R7)	8.1%	17.9%	—	—	—	—
学校間交流に参加した人数(単年度)2期	0人(R2)	400人(R7)	—	—	—	—	—	93※3人
企業版ふるさと納税の寄附額(単年度)2期	0人(R2)	10,000千円	—	—	—	—	—	2,100千円
企業版ふるさと納税(人材派遣型)の人材受け入れ数(単年度)2期	0人(R2)	1人	—	—	—	—	—	—
ふるさと納税の寄附額(単年度)2期	8,625千円(R1)	20,000千円	998,279千円	877,901千円	8,625千円	7,038千円	10,018千円	116,511千円
地域おこし協力隊の任期終了後の定住者数(単年度)2期	0人	2人	—	—	—	—	—	—

3) 観光の振興

※1住民基本台帳人口移動報告、※2住宅・土地統計調査また、29年度は空家等実態調査
※3 岬町、美咲町両校交流児童の合計(教師除く)

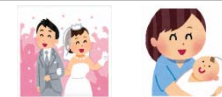
重要業績評価指標(KPI)	基準値	目標値	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
滞在人口(休日14時の人口)	15,215人(R1)	25,000人(R7)	17,180人※1	16,270人※2	15,215人※3	13,591人※4	13,884人※5	13,226人※6

4) タウンプロモーションの推進

※1※2※3※4※5※6 RESAS滞在人口(5月休日、15歳以上80歳未満)

重要業績評価指標(KPI)	基準値	目標値	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
ホームページアクセス件数(単年度)2期	128,456件(R2)	200,000件(R7)	—	—	—	128,456件	160,000件	147,059件

結婚・出産・子育ての切れ目ない支援により、少子化を克服するとともに、次代のみさきを担う人材の育成、確保を図る。



数値目標	基準値	目標値	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
合計特殊出生率※1	1.14(H25~29)	1.17(R7)	—	—	—	1.14(H25~29)	—	—
岬町に愛着を感じる住民の割合	73.4%(R1)	80%(R7)	—	—	—	73.4% ※2	—	—

1)結婚・出産・子育ての支援

※1人口動態統計特殊報告、※2第5次総合計画策定に関する住民意識調査

重要業績評価指標(KPI)	基準値	目標値	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
婚姻率(千対率)(単年度) ※1	3.1(H30)	4.6(R7)	3.0	3.1	3.2	2.7	2.7	2.5
妊娠届が満 11 週までに提出される割合(単年度)	91.2%(R1)	100%(R7)	83.3%	92.1%	91.2%	96.7%	97.9%	94.4 %
乳幼児家庭全戸訪問 訪問率(単年度)	92.1%(R1)	100%(R7)	98.4%	96.2%	92.1%	96.6%	89.7%	92.5 %
子育て施策の満足度(単年度) ※2	28.6%(R1)	50%(R7)	—	—	28.6%	—	—	—
ファミリーサポートセンター登録者数(単年度)	援助34人 利用34人	援助40人(R7) 利用40人(R7)	援助27人 利用32人	援助33人 利用32人	援助34人 利用34人	援助37人 利用39人	援助38人 利用41人	援助 41人 利用 42人
子育て支援センター利用者数(単年度)	5,160人(R1)	5,400人(R7)	7,225人	6,575人	5,160人	1,789人	3,253人	4,326 人

2)次代を担う人材の育成

※1人口動態統計特殊報告
※2第5次総合計画策定に関する住民意識調査

重要業績評価指標(KPI)	基準値	目標値	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
全国学力・学習状況調査(単年度) ※1	4科目中 3科目 全国平均を上回る(R1)	全国の平均 正答率を上 回る(R7)	4科目中 3科目 全国平均を上 回る	4科目中 2科目 全国平均を上 回る	4科目中 3科目 全国平均を上 回る	新型コロナウイルス感染症対策として中止	4科目中 1 科目全国平均を上 回る	4科目中 2 科目全国平均を上 回る
全国体力・運動能力、運動習慣等調査 体力合計点(単年度) ※2	男女ともに 全国平均を上 回る(R1)	全国の体力 合計点を上 回る(R7)	女子は 全国平均を上 回る	男女ともに 全国平均を上 回る	男女ともに 全国平均を上 回る	新型コロナウイルス感染症対策として中止	男女ともに全 国平均を上回 る	小学校のみ 全国平均を上 回る
学校に行くのは楽しいと思う児童・生徒の割合(単年度)	全国平均を 下回る(R1)	全国平均を 上回る(R7)	全国平均を 上回る	—	全国平均を 下回る	新型コロナウイルス感染症対策として全国調査は実施せず	全国平均を上 回る	全国平均を 上回る

※1※2教育委員会調べ(数値は非公表)



産業の育成、創業の支援などによる雇用創出と地域資源を活かした魅力づくりを進め、就職を希望する人の希望をかなえる。

数値目標	基準値	目標値	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
町の取り組みによる雇用創出数(累計)	105人 (R1)	210人 (R7)	58人	85人	105人	106人	107人	162人
従業員数(単年度) ※1	3,597人 (H28)	3,800人 (R7)	—	—	—	—	3,272人	—

※1経済センサス

1)地域資源を活かしたまちの魅力強化

重要業績評価指標(KPI)	基準値	目標値	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
事業所数(単年度) ※1	452所(H28)	470所(R7)	—	—	—	—	389所	—

※1経済センサス

2)地域産業の競争力強化

重要業績評価指標(KPI)	基準値	目標値	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
事業所数(単年度) ※1	452所 (H28)	470所(R7)	—	—	—	—	389所	—
道の駅への出荷軒数(単年度) ※2	130軒(R1)	164軒(R7)	114軒	125軒	130軒	141軒	140軒	160軒

※1経済センサス、※2産業観光促進課調べ

3)雇用対策の推進

重要業績評価指標(KPI)	基準値	目標値	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
地域就労支援事業による就職件数(累計) ※1	162件	327件(R7)	100件	137件	162件	183件	183件	183件
シルバー人材センター登録者数(単年度) ※2	178人(R1)	190人(R7)	189人	178人	178人	170人	154人	154人

※1産業観光促進課調べ、※2地域福祉課調べ

→ 地域力・住民力を活かし、人口減少社会に対応した安全・安心かつ快適で利便性の高いまちを創出する。



数値目標	基準値	目標値	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
これからも岬町に住み続けたいと思っている住民の割合（単年度）※1	66.0%(R1)	70%(R7)	-	-	66%	-	-	-
岬町での生活に満足している住民の割合（単年度）※2	62.9%(R1)	70%(R7)	-	-	62.9%	-	-	-

※1※2第5次総合計画策定に関する住民意識調査

1)生活インフラの確保

重要業績評価指標(KPI)	基準値	目標値	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
コミュニティバスの利用者数（単年度）※1	129,969人 (R1)	136,500人 (R7)	123,807人	130,654人	129,969人	105,609人	103,687人	121,644人
小売事業者数（単年度）※2	108事業者 (H28)	120事業者 (R7)	-	-	-	-	97事業者 (卸売含む)	-
下水道処理人口普及率（単年度）※3	78.8% (R1)	79.0% (R7)	76.8%	78.4%	78.8%	79.0%	79.2%	79.7%

※1生活環境課調べ※2経済センサス※3土木下水道課調べ

2)安全・安心な暮らしの確保

重要業績評価指標(KPI)	基準値	目標値	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
自主防災組織数（累計）※1	48団体 (R2)	53団体 (R7)	44団体	44団体	47団体	48団体	48団体	48団体
刑法犯罪発生件数（単年度）※2	85件 (R1)	77件 (R7)	116件	101件	85件	78件	64件	59件
防犯カメラ設置台数※3 2期	47件 (R2)	52件 (R7)	-	-	-	47件	52件	52件

※1※3危機管理担当調べ、※2大阪府警HP



3)誰もが健康で暮らしやすいまちづくりの推進

重要業績評価指標(KPI)	基準値	目標値	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
いきいきパークみさきの利用者数(単年度) ※1	32,977人(R1)	39,000人(R7)	12,710人	15,542人	32,977人	28,824人	28,280人	33,951人
健康ふれあいセンターの利用者数(単年度) ※2	85,094人(R1)	96,000人(R7)	96,240人	95,963人	85,094人	72,377人	70,541人	73,662人
いきいきサロン開催数(単年度) ※4	101回(H30)	102回(R7)	104回	101回	88回	10回	10回	70回

※1企画地方創生担当調べ、※2※3※4地域福祉課調べ

4)地域コミュニティの活性化

重要業績評価指標(KPI)	基準値	目標値	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
自治区加入率(累計) ※1	80.7%(R1)	85%(R7)	83.4%	81.7%	80.7%	81.6%	82.0%	80.7%
岬ゆめみらいサポート事業件数(単年度) ※2	9件(R1)	15件(R7)	11件	7件	9件	4件	2件	6件

※1危機管理担当調べ、※2企画地方創生担当調べ

5)広域連携の推進

重要業績評価指標(KPI)	基準値	目標値	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
広域連携事業数(累計) ※1	26事業(R1)	32事業(R7)	25事業	25事業	26事業	27事業	27事業	27事業

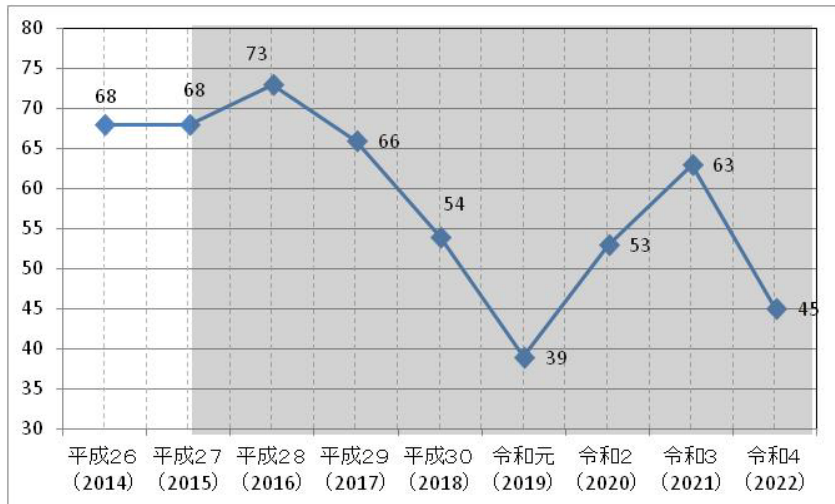
※1企画地方創生担当調べ



2. 令和4年度の地方創生の取組みについて

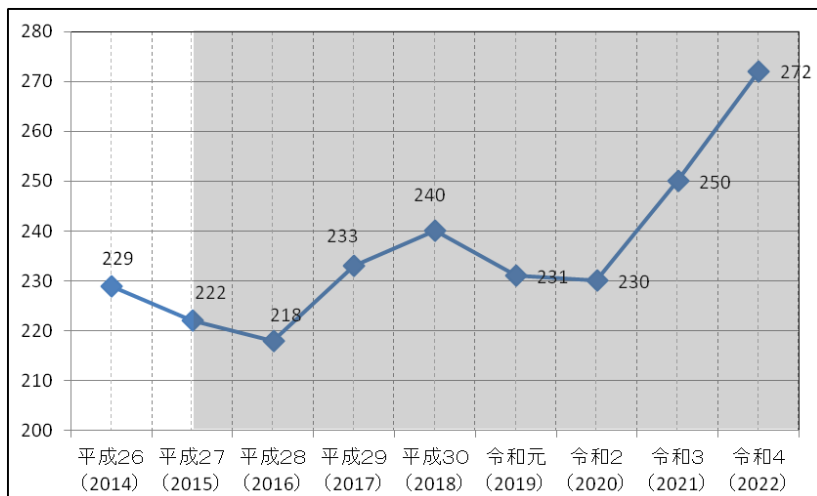
(3) 人口動態について

◆ 1. 出生数の推移 ◆



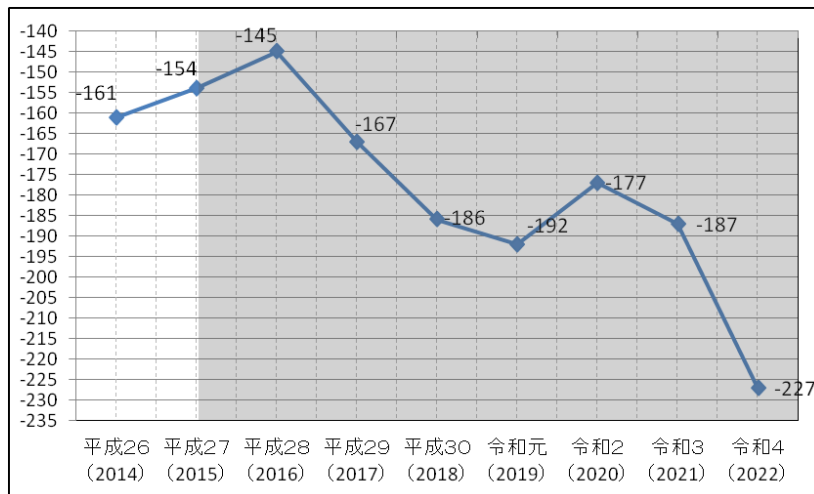
出典：人口動態総覧

◆ 2. 死亡数の推移 ◆



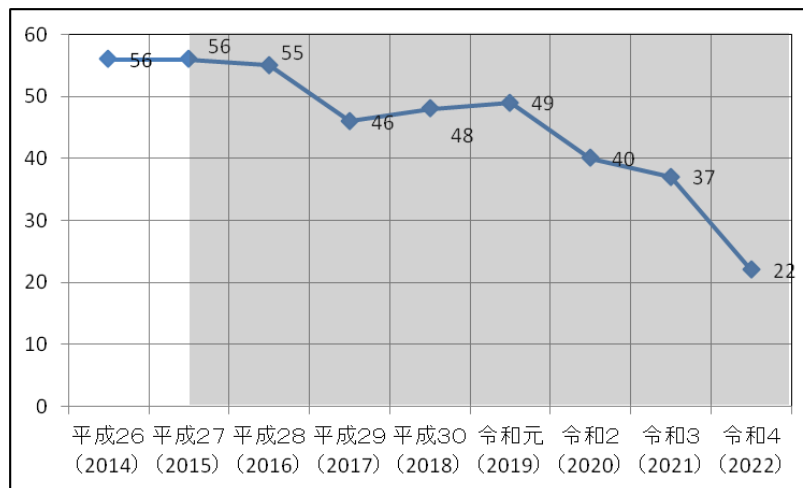
出典：人口動態総覧

◆ 3. 自然増減の推移 ◆



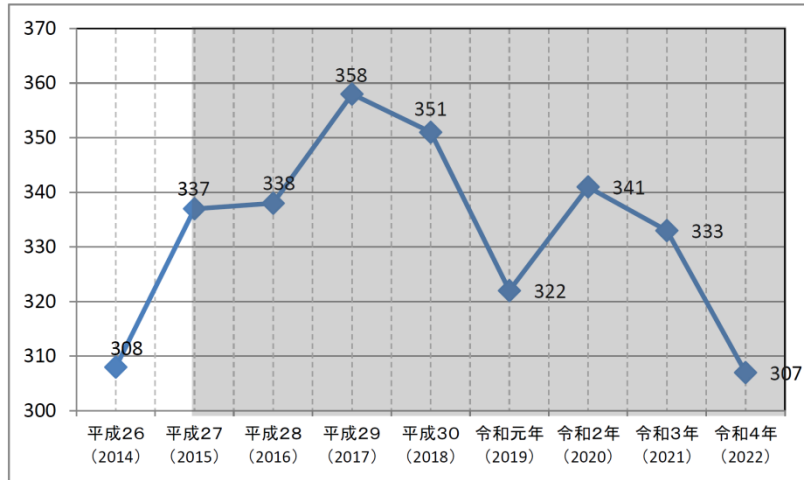
出典：人口動態総覧

◆ 4. 婚姻数の推移 ◆



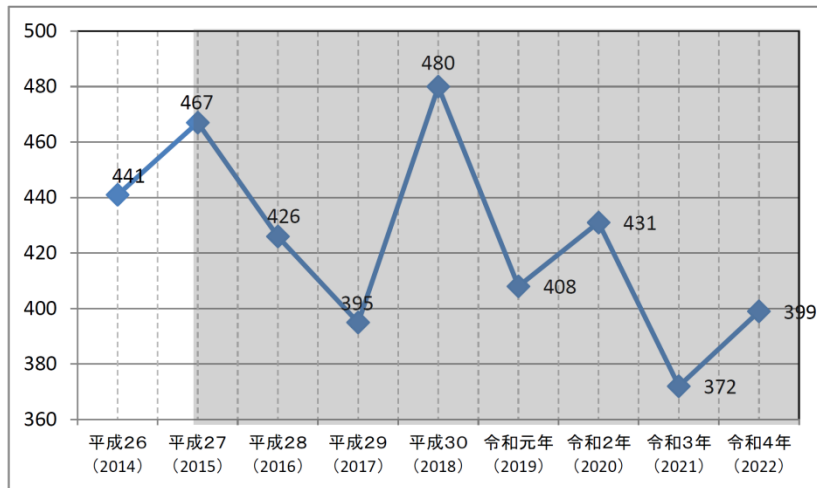
出典：人口動態総覧

◆ 5. 転入数の推移 ◆



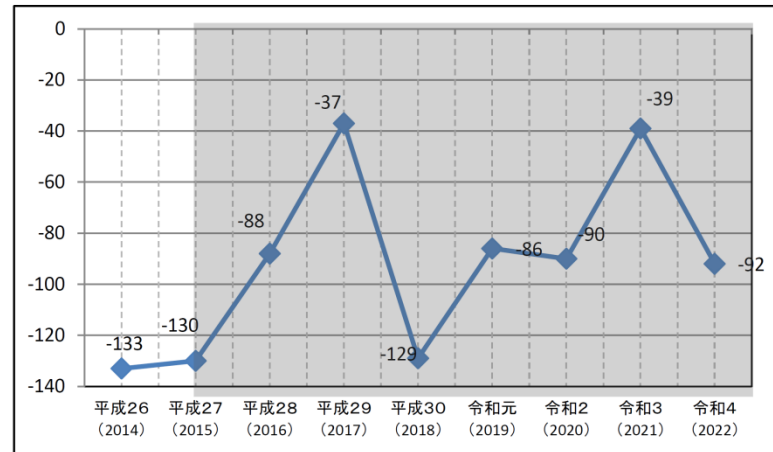
出典：住民基本台帳人口移動報告

◆ 6. 転出数の推移 ◆



出典：住民基本台帳人口移動報告

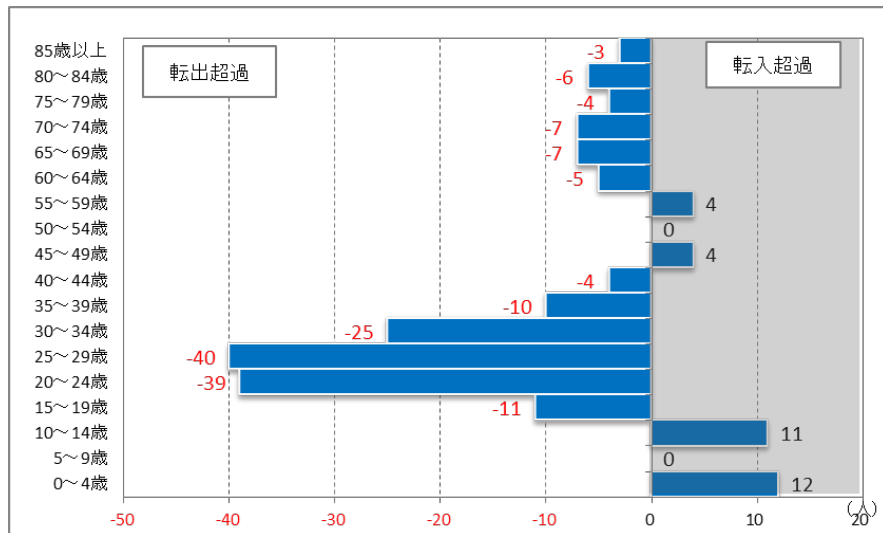
◆ 7. 社会増減の推移 ◆



出典：住民基本台帳人口移動報告

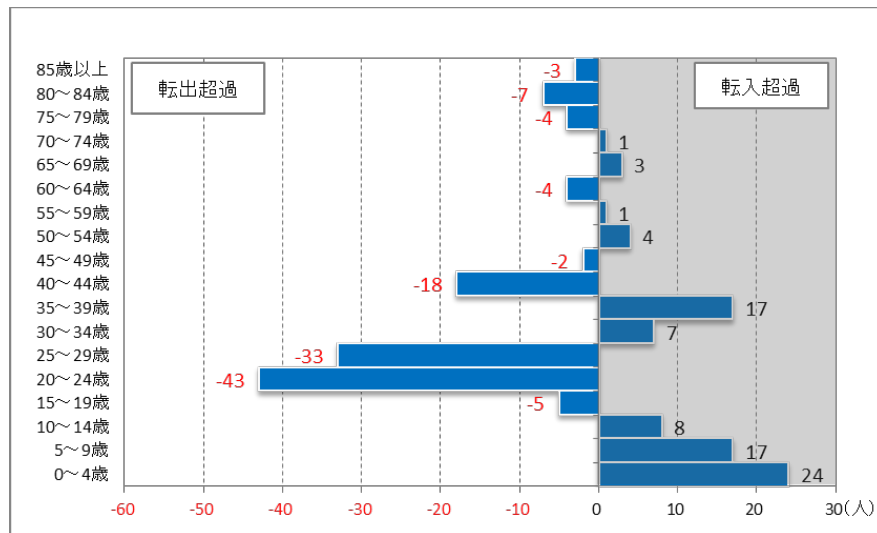


◆ 8-1. 年齢階層別転出入超過数 (平成27年) ◆



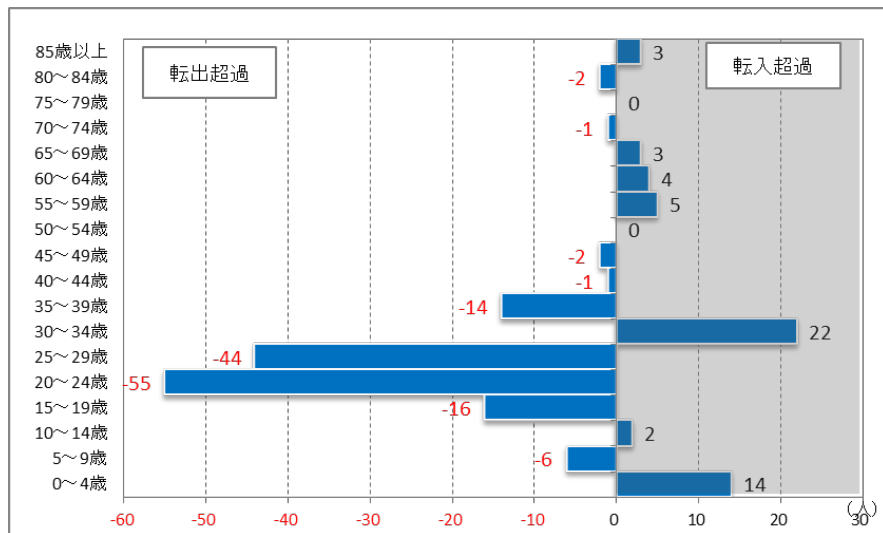
出典：住民基本台帳人口移動報告

◆ 8-3. 年齢階層別転出入超過数 (平成29年) ◆



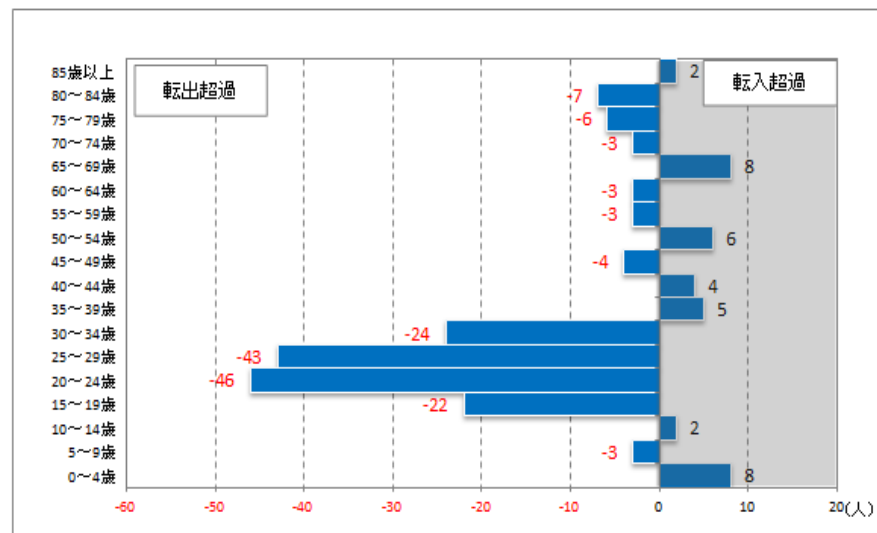
出典：住民基本台帳人口移動報告

◆ 8-2. 年齢階層別転出入超過数 (平成28年) ◆



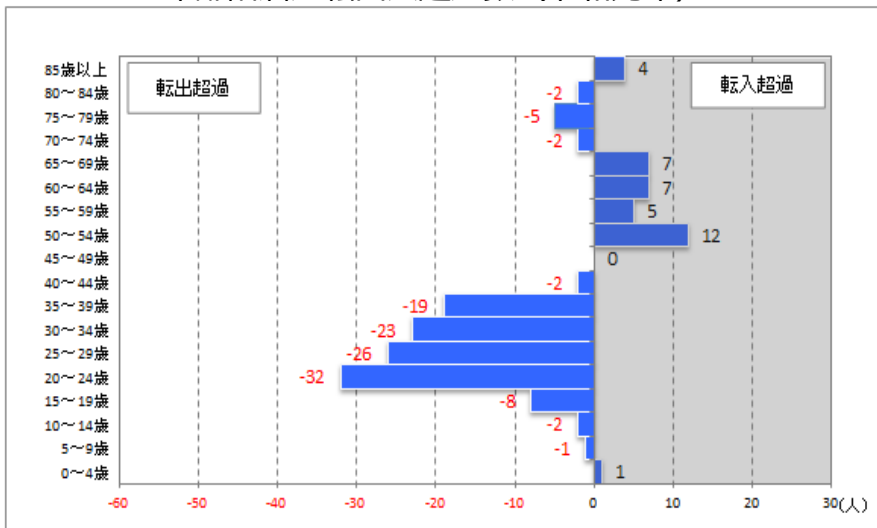
出典：住民基本台帳人口移動報告

◆ 8-4. 年齢階層別転出入超過数 (平成30年) ◆



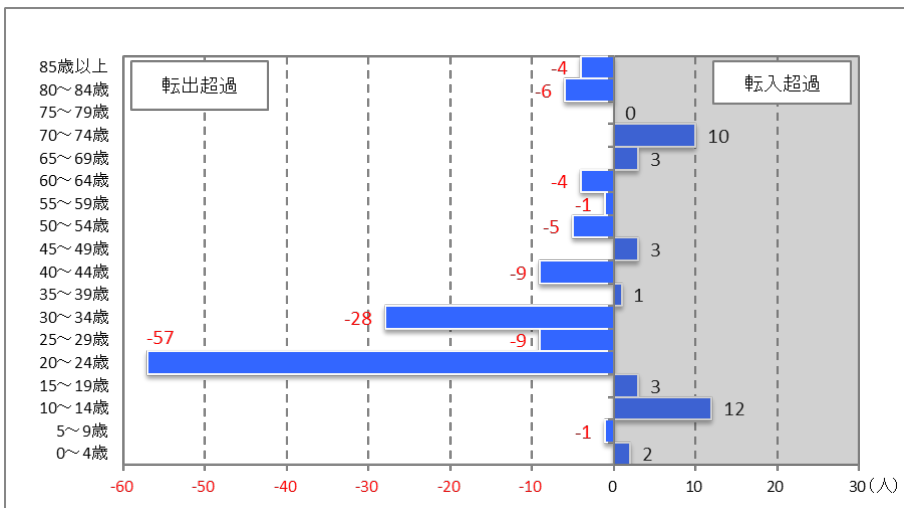
出典：住民基本台帳人口移動報告

◆ 8-5. 年齢階層別転出入超過数 (令和元年)



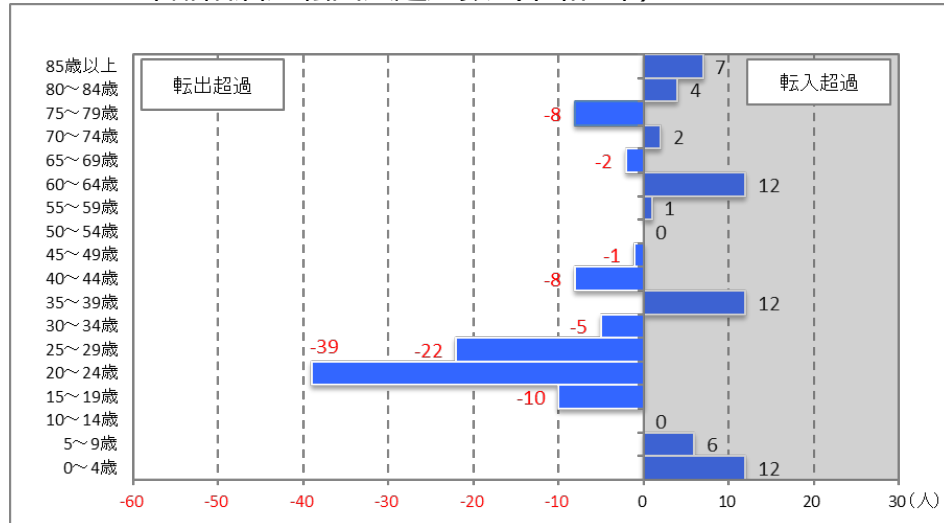
出典：住民基本台帳人口移動報告

◆ 8-6. 年齢階層別転出入超過数 (令和2年)



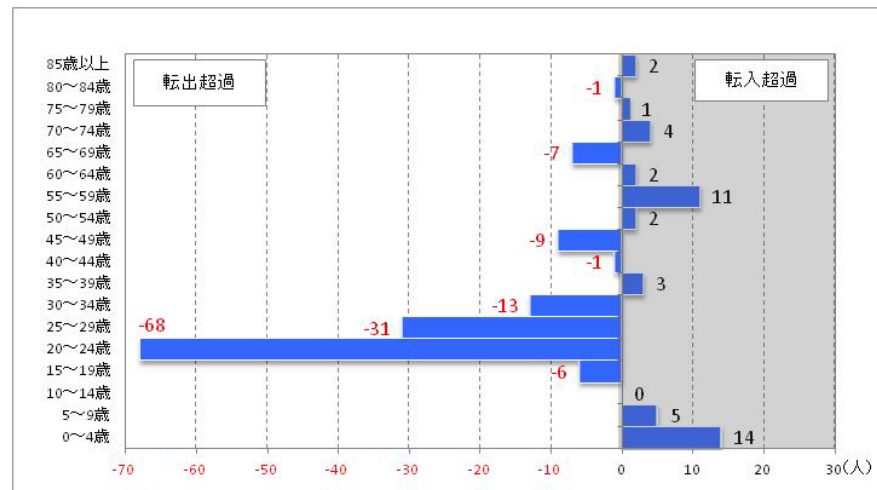
出典：住民基本台帳人口移動報告

◆ 8-7. 年齢階層別転出入超過数 (令和3年)



出典：住民基本台帳人口移動報告

◆ 8-8. 年齢階層別転出入超過数 (令和4年)



出典：住民基本台帳人口移動報告

3. 第2期岬町まち・ひと・しごと創生総合戦略の方向性

(1) 岬町の課題

(1) 「自然減」の抑制

自然減は、「死亡数」が「出生数」を大幅に上回る状態が続いているためであり、自然減を抑制するためには「出生率」を向上させていく必要があります。

また、出生率の向上に向けて、このまちに住み、子どもを生み育てたい人の希望を実現するため、出会いや結婚を支援し、妊娠・出産から子育て支援まで切れ目のない施策の充実を図る必要があります。

(2) 「社会減」の抑制

若い世代を中心とする転出超過のうち、特に、近隣市への流出が本町の人口減少につながっています。一方で、進学等により町外に転出した若い世代が、そのまま町外に住み続ける割合が高いことも人口減少につながっています。

転出超過の改善に向けて、近隣市への転出抑制に加え、進学等により町外に転出した若者や新たに移住を希望する方が、このまちに住み、生活したいと思えるような住環境や就労の希望を実現できる雇用環境等の整備・充実を図る施策に取り組む必要があります。

(3) 長期的かつ総合的な観点でのまちづくり

人口減少の要因は、様々な要素が関係していることから、長期的かつ総合的な観点で施策を実行し、まちづくりを推進していく必要があります。

時代にあった地域をつくり、地域と地域が連携した持続可能なまちづくりを進めるため、特に、地域資源の活用、地域の将来を支える人づくり、交流の促進に取り組む必要があります。

(2) 岬町の方向性

第2期岬町総合戦略では、岬町人口ビジョンを踏まえ、国の示す政策分野に基づくとともに、第1期岬町総合戦略で掲げた基本目標の趣旨や施策等を引き継ぐこととします。

4つの「基本目標」を設定し、人口減少に歯止めをかけるとともに、人口減少社会に対応できるまちづくりを着実に進めていくものとします。

各施策には、短期的に実施が可能な施策と構造的な改革を視野に入れて中長期に継続的に実施すべき施策の両方を含んでおり、第5次岬町総合計画（令和3年（2021年）から令和12年（2030年））との整合を図った内容とします。

(3) 第2期岬町総合戦略の基本目標

- 基本目標1 新しい人の流れをつくり、定住と交流を促進する
- 基本目標2 結婚・出産・子育て・教育の希望をかなえる
- 基本目標3 経済を活性化し、安定的な雇用を創出する
- 基本目標4 安全・安心な暮らしができる魅力的なまちをつくる

(4) 横断的な目標

- 横断的な目標Ⅰ 多様な人材の活躍を推進する
- 横断的な目標Ⅱ 新しい時代の流れを力にする



4. 第2期岬町まち・ひと・しごと創生総合戦略の取組みについて



基本目標 1 新しい人の流れをつくり、定住と交流を促進する

→ まちの魅力づくりと情報発信に努め、定住人口の増加と交流人口の拡大を図る。
町や地域と関わりのある町外からの新しい人の流れ（関係人口）を生かした取組みを進める。

◆基本的方向◆

- ・移住・定住者の視点に立ち、雇用や住まい等の移住・定住の条件を向上する総合的な環境整備を行い、移住・定住を促進するとともに、移住者の潜在需要を開拓するため、観光振興や情報発信によって交流人口を拡大し、新しい人の流れを創り出す。
- ・町外に居住しながらも、町や住民と関わり、継続的に地域に貢献する「関係人口」という新たな人の動きに着目し、地域の課題解決につながる仕組みづくりを推進します。また、地域経済の活性化を推進するため、「交流人口」や「関係人口」の創出・拡大を図ります。



◆具体的な施策◆



施策名	主な具体的事業
①移住・定住の支援	<ul style="list-style-type: none"> ○ 移住・定住に対する支援（新築、中古住宅購入助成、家賃補助、金融機関との連携、奨学金返済支援制度、移住・定住促進PR番組制作・放送等） ○ 空き家バンク制度の充実 ○ 大阪府宅建協会と連携した空き家に関する相談業務の実施 ○ お試し居住事業（府営住宅の空室を活用し、本町への移住希望者が一定期間居住する。） ○ 移住を促進するための情報発信の推進 ○ テレワークの推進 等
②関係人口の創出・拡大	<ul style="list-style-type: none"> ○ 岡山県美咲町との連携・交流（児童・生徒交流事業、イベント開催等） ○ 企業版ふるさと納税寄附活用事業 ○ 企業版ふるさと納税（人材派遣型）の活用 ○ ふるさと納税寄附活用事業 ○ 地域おこし協力隊の活用 ○ 関係人口の創出・拡大に向けた仕組みづくりの検討 等

◆具体的な施策2◆

施策名	主な具体的事業
③観光の振興	<ul style="list-style-type: none"> ○ 観光交流拠点の整備・活用【(仮称)みさき公園観光案内所、深日港観光案内所(さんぽるた)、道の駅みさき(夢灯台)】 ○ 観光客の受入環境の充実(観光マップ、観光看板、シェアサイクル、レンタサイクル、Wi-Fiの整備等) ○ 体験型観光の推進(マリンレジャー、工場見学、環境保全活動等) ○ 広域サイクルツーリズム事業の実施(サイクリングイベント、旅客船運航) ○ 観光集客を推進するプラットフォームとなるDMO(KIX泉州ツーリズムビューロー)の活用 ○ 日本遺産として登録された葛城修験道の整備・活用 ○ 新たなみさき公園の整備 ○ みさき農とみどりの活性化構想の推進 ○ イベント開催や地域のイベントの支援 等
④タウンプロモーションの推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大学等と連携したタウンプロモーションの推進(ワークショップ、情報発信) ○ 地域おこし協力隊の活用【再掲】 ○ 都市部でのまちの魅力発信イベントの開催 ○ サテライトキャンパスの設置 等

※赤字は第2期総合戦略の新規、拡充事業

➡ 結婚・出産・子育ての切れ目ない支援により、少子化を克服するとともに、次代のみさを担う人材の育成、確保を図る。



◆基本的方向◆

誰もが結婚の希望を実現し、安心して子どもを産み、育てることができる環境づくりを進める。また、素晴らしい自然環境や、小さな町だからできるきめ細やかな対応といった特性を活かし、こどもたちが心身ともに健やかに育ち、まちへの愛着を育む教育を進める。

◆具体的な施策◆



施策名	主な具体的事業
①結婚・出産・子育ての支援 ア 結婚希望の実現	<ul style="list-style-type: none"> ○ 婚活イベント開催支援 ○ 結婚新生活のスタートアップに係るコストの支援（結婚祝金）等
イ 妊娠・出産の支援	<ul style="list-style-type: none"> ○ 不妊・不育治療支援（拡充） ○ 出産祝い金（拡充） ○ 妊娠初期からの包括的な支援（妊婦健診、妊婦歯科検診）等
ウ 子育ての支援	<ul style="list-style-type: none"> ○ 保育機能の充実（延長保育、0歳児保育、子育て短期支援事業、病児保育、一時預かり事業（保育所、幼稚園）等 ○ ファミリー・サポート・センター事業（子育ての相互応援） ○ 第2子以降の保育料無償化（保育所、幼稚園、認定こども園） ○ 子ども医療費助成事業（医療費（入院・通院）の助成対象を満18歳に達した後の3月末までの者とする。） ○ 給食無償化（幼稚園・保育所） 等 ○国際交流推進制度
②次代を担う人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> ○ スクールカウンセラー事業の実施（小・中学校、幼稚園に派遣） ○ スクールソーシャルワーカー設置事業 ○ 子どもの体力向上推進事業の実施（和歌山大学と連携し、子どもの体力・運動能力の分析、授業の改善を行う。） ○ 中学校学力エンパワメント推進事業（授業改善について、学識経験者による職員研修を行う。） ○ 登下校見守り事業 ○ 学習環境の充実（学校給食センターと岬中学校給食調理場の統合、GIGAスクール構想の推進、洋式・多目的トイレの整備、小中学校の体育館に空調機器整備の検討、中学校テニスコート改修 ○ 長寿命化計画の推進 ○ 文化芸術育成事業（小学校に芸術家を派遣し、子どもの能力の充実を図る。また、保護者も対象に追加） 等

※赤字は第2期総合戦略の新規、拡充事業

➡ 産業の育成、創業の支援などによる雇用創出と地域資源を活かした魅力づくりを進め、就職したい人の希望をかなえる。

◆基本的方向◆

本町の産業構造や自然環境など地域特性を最大限活かし、農業や漁業、製造業、サービス業などの産業振興を進めるとともに、就労支援や相談業務の充実を図り、関係機関と連携し、安心して就労できる環境づくりを進め、雇用機会の確保・創出を進める。



◆具体的な施策◆

施策名	主な具体的事業
①地域産業の創出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 創業支援事業の実施 ○ 商工会、金融機関と連携した創業支援（ワンストップ相談窓口、情報共有など） ○ 創業支援事業の実施（創業支援事業者助成、創業支援助成、創業支援利子補給） ○ ビジネスプランコンテストの開催 ○ 企業誘致の推進（企業誘致優遇措置助成事業）等 ○ 森林資源の育成・活用（森林環境譲与税等の活用）
②地域産業の競争力強化	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域特産品開発の支援（特産品開発助成） ○ 農・漁業新規就労者の支援（住居費の助成） 等
③雇用対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ 高齢者の就労支援（シルバー人材センターの活動支援） ○ 町内事業者の求人情報を町ホームページで紹介 ○ 新たな技能を身につける職業訓練やリカレント教育の推進 ○ テレワークの推進【再掲】 等

※赤字は第2期総合戦略の新規、拡充事業

→ 地域力・住民力を活かし、人口減少社会に対応した安全・安心かつ快適で利便性の高いまちを創出する。

◆基本的方向◆

超高齢社会に対応し、誰もが住み慣れた地域の中で元気にいきいきと安心して生活できる環境整備を進める。また、災害に強いまちづくりの観点からも、これまでに整備した都市施設の維持更新を含めて、引き続き都市基盤の計画的な整備を進め、安全で快適な暮らしを守るまちづくりを進める。



◆具体的な施策◆



施策名	主な具体的事業
①生活インフラの確保	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域公共交通の確保（コミュニティバスの運行（小型ノンステップバスの整備）、南海多奈川線の活性化（鉄道事業者と連携した事業の実施）） ○ 幹線道路網の整備（（仮称）池谷向出連絡線、町道西畑線、町道美化センター連絡線、町道岬海岸番川線）等
②安全・安心な暮らしの確保	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災拠点の整備（防災用品、防災倉庫の整備等） ○ 防犯灯や防犯カメラ設置 ○ 岬町国土強靱化地域計画の推進 ○ 災害用物資備蓄経費（段ボールベッドの購入など） ○ 既存民間建築物安全対策（ブロック塀安全対策） ○ 不良空家等除却補助 等
③誰もが健康で暮らしやすいまちづくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ 健康・福祉の推進（在宅医療・介護連携の推進、認知症施策の推進 等） ○ 協議体活動の推進（新しい支え合い・助け合い社会の実現） ○ 岬町スポーツ広場の活用 ○ 高齢者の就労支援（シルバー人材センターの活動支援） ○ 小地域ネットワーク活動支援（社会福祉協議会）等
④地域コミュニティの活性化	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域住民のまちづくり活動の支援（コミュニティ用品貸出） 等
⑤広域連携の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ 近隣市町との事務事業の連携（まちづくり、介護・障害福祉分野） 等 ○ 岡山県美咲町との連携・交流（児童・生徒交流事業、イベント開催等）【再掲】 ○ NPOなどの地域づくりを担う組織や企業との連携 ○ 大学との連携推進 等

※赤字は第2期総合戦略の新規、拡充事業

(1) 第2期岬町総合戦略の推進に向けて

基本目標（1～4）の実現に向けて、関連施策・事業を推進するにあたり、岬町単独で取り組むのではなく、町内外の企業の人材・資金や国・府の施策・事業の活用、新技術の積極的な導入などにより、円滑で効果的な事業推進を図ります。

SDGsのターゲットに関係する事業については、SDGsの視点から地域ぐるみの取組を推進します。

◆基本的方向◆



横断的な目標 1

多様な人材の活躍を推進する



◆具体的な施策◆

施策名	主な具体的事業
①幅広い連携の推進 ア 公民連携の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ 企業版ふるさと納税寄附活用事業【再掲】 ○ 企業版ふるさと納税（人材派遣型）【再掲】 ○ 地域おこし協力隊の活用【再掲】 ○ 企業との連携協定の締結、企業提案の受け入れ
イ 広域連携の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ 近隣市町との事務事業の連携（まちづくり、介護・障害福祉分野）等【再掲】 ○ 岡山県美咲町との連携・交流（児童・生徒交流事業、イベント開催等）【再掲】 ○ NPOなどの地域づくりを担う組織や企業との連携【再掲】 ○ 大学との連携推進 等【再掲】

横断的な目標 2

新しい時代の流れを力にする

◆具体的な施策◆

施策名	主な具体的事業
①新しい時代の動きの活用 ア 新技術の活用	<ul style="list-style-type: none"> ○ ICT・IoT・ロボットなどの新技術の活用 ○ Society5.0の実現に向けたデジタル・トランスフォーメーション（DX）の推進
イ SDGsの実現	<ul style="list-style-type: none"> ○ ターゲットの実現につながる取組の推進